

事務局だより

会議報告

平成26年4月1日より9月30日まで

◆第10回理事会

月日…平成26年6月6日

場所…主たる事務所

出席…理事 監事

決議事項…

- ① 自平成25年4月1日至平成26年3月31日 事業報告の件
 - ② 自平成25年4月1日至平成26年3月31日 決算の件
 - ③ 定時評議員会招集の件
 - ④ 平成26年度助成事業内容一部変更の件
- 報告事項…
- ① 評議員辞任の報告
 - ② 理事長および専務理事の職務執行の報告
 - ③ 会員数の報告

◆第6回評議員会

月日…平成26年6月23日

場所…主たる事務所

出席…評議員

報告事項…

- ① 評議員の辞任の件
- ② 自平成25年4月1日至平成26年3月31日 事業報告について
- ③ 決議事項…
- ④ 評議員の選任の件
- ⑤ 自平成25年4月1日至平成26年3月31日 決算について

●東海本部役員会

月日…平成26年8月20日

場所…名鉄グランドホテル(名古屋)

出席…東海本部・京都本部役員

報告事項…

- ① 糺の森環境整備・景観保全と文化財修理 事業に係る東海募金進捗の件
- ② 糺の森環境整備・景観保全と文化財修理 事業に係る各地区募金の進捗の件

会員数報告(平成26年9月10日現在)

賛助会員	55件
団体・法人会員	37件
個人会員	1,167名
合計	1,259件

ホームページリニューアル

<http://www.tadasunomori.or.jp>
内容を一新しアドレスも変更いたしました。

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしくお願いいたします。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

ご寄付のお願い

平成25年度も多くのご寄付をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成26年度も引き続きましてご寄付をよろしくお願いいたします。同封の振込用紙をご利用ください。

下鴨神社だより

行事日程

●平成26年下半年行事

10月9日 えと祈願祭(午後1時～)

12月12日 お菜酒神事(午後1時半～)

●平成27年上半年行事

1月1日 歳旦祭 (午前6時～)

1月4日 蹴鞠初め (午後1時半～)

1月7日 初えと祭 (午前11時～)

1月11日 成人祭 (午後1時半～)

2月3日 節分祭 (午前10時～)

3月3日 雑流し (午前10時半～)



第34回式年遷宮諸祭事日程

●平成27年

4月27日(月) 正遷宮

4月28日(火) 奉幣祭

糺の森

題字

賀茂御祖神社

新木直人宮司

編集・発行

公益財団法人

世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.tadasunomori.or.jp

糺の森財団会報

Vol. 10

平成26年10月1日発行
通号58号

糺の森ぶらりぶらり第9回

流造りの社殿と京都の町家

糺の森NEWS／催事案内

表紙写真／水野克比古

糺の森



糺の森財団

理事 伊藤 謙介

(京セラ株式会社 顧問)



下鴨神社「糺の森」は、都市の中に位置しながら、四季折々に市民に憩いの場を提供しています。森を散策する地域の方々だけでなく、遠方からの参拝者も増えてきています。これも偏に皆様のご協力の賜物と心より御礼申し上げます。昨今、企業の社会的責任(CSR)が叫ばれており、環境保全もCSRの一つになっていきます。企業のみならず、私たち一人ひとりも身の回りの環境保全に取り組むことが求められます。自分に、何が出来るかを考え、そして実際に行動に移していく、一人ひとりの力は微々たるものでも集まれば、環境を守る大きな力になるのではないのでしょうか。

糺の森には、原生林の間を縫うように清流があり、その一つが「瀬見の小川」です。その昔、鴨長明は「石川や瀬見の小川の清ければ月も流れをたづねてぞすむ」(新古今和歌集)とこの小川の清らかさとそこに映る月の美しさを詠みました。八百年の時を越えて、私たちは月明かりの夜に瀬見の小川で鴨長明の心境を味わうこともできます。先達が永年にわたり糺の森を大切にしてくられた証ではないでしょうか。このかけがえのない糺の森を後世に残していくために、私たちはこの森の環境保全に思いを巡らし、一人ひとりが貢献できることから始めてまいりたいと思います。

糺の森財団の活動は、法人及び個人の多くの方により支えられております。この活動にゴールは無く、決して容易な道のりでもございませんが、当財団は糺の森の保全を、今を生きる者の使命として、次代に残すべく歩みを進めてまいります。何卒、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



流造りの社殿と
京都の町家

京都工芸繊維大学名誉教授
日向 進

私は京都の町家に対する関心から建築史の分野に進みました。そこで、ちょっと強引かもしれないのですが、賀茂御祖神社(下鴨神社)の御本殿の形式である流造りと京都の町家に通底するのではないかとおもう建築的な様態について述べてみます。

流造りの屋根は切妻造りで前面を長く葺き下ろした平入りです。流造りとともに普遍的な本殿の形式は春日大社に代表される春日造りですが、こちらは妻入りです。造形的には、正面性が強調される妻入りの方が自己完結性が強いとい

糺の森
ぶらりぶらり
第九回



葺き替えられた本殿屋根

国宝東西本殿の屋根には新しい檜皮が葺かれ、流造りの美しい曲線がよみがえりました。
檜皮の長さは、使用箇所によって異なりますが、平らな部分(平葺面)では2尺5寸(約75cm)の檜皮が使われます。

**国宝 東本殿・西本殿
屋根葺き替え工事等完了間近**

助成対象 文化財建造物修理事業

葺く際に、4分(約1.2cm)ずつすらすらして葺くので、厚みが約10cmになり、雨の浸入を防ぎます。この檜皮は、樹齢70〜80年以上のヒノキの立木から採取します。一本のヒノキから約6kgの檜皮が取れますが、屋根1㎡を葺く為に檜皮が約60kg必要です。下鴨神社本殿1棟の屋根面積が約129㎡なので、1棟の平葺き面にヒノキ約1300本分の檜皮が使用される計算になります。
屋根の上には木製の箱棟を据えて、両端に雨仕舞の鬼板を取付けた上から銅板を貼っていきます。箱棟は一巨下され、屋根が葺き替えられている間に、腐食した木部を部分的に新しい材料で補う作業が行われました。写真の白木部分が新しい材料です。この際、いつ修理した材料かを後世に伝えるため「平成25年度修補」の焼き印が押されています。この焼き印を押す作業は他の修理した木部でも施され、将来貴重な記録となります。



本殿箱棟の焼き印



一部新しい木材で補修された本殿鬼板



木部の補修を行う祝詞舎床板



葺き替えられた祝詞舎屋根

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内
糺の森保存会事務局
www.tadasonomori.or.jp

**重要文化財 祝詞舎のむらとや
助成対象工事を追加実施**

祝詞舎は東西本殿の間と、南にある幣殿をつなぐ建物です。祭典時に神職が祝詞を奏上することからこのように呼ばれています。現在の祝詞舎は寛永6年(1629)に建て替えられたもので、国の重要文化財指定を受けています。

今回、屋根の腐朽が進んでいたため、助成対象事業として、檜皮屋根の葺き替えと床板の補修工事が追加実施されることになりました。本殿同様に、屋根が葺き替えられ、箱棟も修理を経て元の場所に戻りました。



②平野神社 本殿



①下鴨神社 本殿

えます。写真②の平野神社本殿は四棟の春日造りが横に並ぶのですが、二棟づつ連結して左右両殿に棟を渡しています(比翼春日造り)。個の主張を少しやわらげて、群としての表裏に傾斜した造形です。一方、流造りのなかには、正面の屋根に唐破風や千鳥破風を設けて正面性を強調するものがあらわれます。自己主張は弱い流造りとしての工夫です。このような造形表現上の違いをもつ流造りと春日造りですが、両者ともに井桁に組んだ土台の上に本体が建っているという構造形式が共通していま



す。それは神輿のように動かすことが可能な仕方なのです。臨時的、仮設的な存在形態のなかに、遠い先祖から受け継いできたカミとの交感が多くの人々の共感を得たのではないかと考えられます。
民家にも平入りと妻入りがあり、平入りの代表が京都の町家です。長屋のように連続する町並みのなかに屋根に「うだつ(卯建)」のある町家が混ざっています。「うだつ」は類焼を防止するためにつくられたといわれますが、「うだつがあらん」という言い回しが生まれた背景には、「うだつ」が個の領域を明示する装置としてはたらいいたことを示唆しているようにおもわれます。
町家にお住まいの方が「仮屋建て」とか「仮屋普請」といわれることがあります。応急仮設的なとるにたらない建物だという婉曲的な物言いなのですが、そのような町家の奥には数寄屋普請のあかぬけた座敷がひそんでいるのです。北山の杉など身近な素材に精緻な技術を注入して、「仮屋」のようにさりげなく組み立てる工夫を積み重ねてきたのが京都の建築的伝統でした。



③京都の町家

このような京都の町家を井原西鶴は「かるい」と表現しています。自己主張を抑えながら洗練された造形として結実していることに対する共感の表現であり、平入りの京都の町家が全国の都市住居の理想モデルとなったのは、横並びでいかめしさをあらわにしない造形上の均質性、同質性が大きく作用しているからではないでしょうか。

「世界遺産京都下鴨神社展」名古屋で開催

平成27年 式年遷宮奉祝特別展

8月20日から26日まで名古屋駅前名鉄百貨店本店10階で開催いたしました。第6回目となる今年は、来年に迎える式年遷宮に向けた特別展とし、初の展示となる「御帳台」をメインに、ご神宝や工事にかかわる貴重な品々を展覧いたしました。期間中約2,500名の来場者があり、式年遷宮を通じて文化財保護・環境保全への理解を深めていただくことができました。



御帳台とは平安時代の寝殿造の屋内に置かれ、座所や寝所として使用された調度。神社に於いて御神座として用いられるようになった。



世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成26年8月12日(火) 於：下鴨神社参集殿

平成27年4月に迎える下鴨神社式年遷宮を記念して、今年「下鴨神社京都学問所」と共催にて開催いたしました。講師に、小説家、エッセイスト、また写真家として活躍中の夢枕獭氏をお迎えしました。

幼少期より小説家を志し、第10回SF大賞を初め多数の文学賞を受賞。「陰陽師」など数々のシリーズ作品を発表され、その著作意欲は益々盛んで、今後も一層のご活躍が期待されます。今回は「物語について」と題しご自身の経験や調査を披露しながら語っていただきました。講演は以下のような内容でした。



人間の脳は文字を覚える以前に物語を作るようになっていく。物語をつくることで生き延びるすべを身に付けていく。自然からの危険を察知し生きながらえていけるのは、物語をつくりだす能力の陰である。

現在は、縄文人と神様のかかわりを物語にするのが夢である。その為の調査に力を注いでいるところである。残りの人生(寿命)を逆算しても書き上げることができ

かどうか難しい程のアイデア、構想を抱えている。80歳を超えても書き続けていきたい。90歳を超えても書き続けている瀬戸内寂聴さんが目標である。物語は終わりがあるわけではない。書き続けられて永遠に終わらないことが物語である。

第24回 螢火の茶会と糺の森納涼市

盃に 散れや糺の とぶほたる 一茶

この歌は小林一茶が寛政4年の夏に下鴨神社で詠んだ歌です。泉川のほとりの茶店で、舞う螢を見ながら盃を傾けて涼んでいる様子です。

今年も恒例の「螢火の茶会」を6月14日(土)に開催。夕方からのお茶席には財団法人などの招待客約800名の方が参席。また午後1時半から9時までの箏曲の演奏や雅楽舞には約4,000名が来場。そして螢は夕暮れ時に楼門の東側の散策路に約400匹を放流。9時頃まで螢の舞が楽しめます。

今年も多くの皆様にご奉仕ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

- 〔お茶席・点心席奉納〕 裏千家前家元 千玄室様 〔お茶席奉仕〕 淡交会京都北支部様 〔点心席奉仕〕 本家尾張屋様 〔箏曲奉仕〕 錦綾子社中様 〔十二単衣の着付と王朝舞〕 下鴨古楽会様 〔ご協力〕(敬称略・五十音順) (株)織部設備工業 (株)岸野電気 (株)松風園 (株)西村工務店 (株)林屋電気商会 (株)藤田造園 (株)ワコールホールディングス



ジャズ・北欧・クラシック、気軽なコンサートが好評

春の糺の森コンサート「音の森」開催

4月6日「TAKAHIRO TSUII & Friends」、4人によるジャズコーラス。5月はおなじみになった「ドレクスキップ」を迎え北欧音楽。6月は京都市立芸術大学の学生による「弦楽四重奏」、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの演奏。春から初夏の日差しの中、ゆったりとした時間が過ぎていきました。秋のコンサートも是非ご期待ください。



一本の木が守る環境と生態系のことを考える 第24回 糺の森市民植樹祭

平成3年から始まった「糺の森市民植樹祭」、今年も4月29日(火)の昭和の日に開催。あいにくの雨模様でしたが約200名の市民が親子で参加し、糺の森後継樹のムク・エノキ・カツラ・ケヤキ・モミジの樹齢2~3年の苗木500本を植樹いたしました。また成木の献木は20本(モミジ5本・ケヤキ5本・カツラ8本・エノキ1本・ムク1本)をいただきました。



式典では千代田市長、新木宮司からご挨拶、山田京都府知事からご祝辞、また近畿大学講師田端様から植樹のレクチャーをいただきました。運営にあたりましては、藤田造園様より苗木500本をご寄贈いただき、また林屋電気商会様・藤田造園様には設営等にご支援ご協力をお願いしました。誌面を借りまして皆様にご挨拶申し上げます。

- 〔成木献木者〕 (五十音順) (株)伊藤園様 (株)エステプロラボ様 大石麻瑛央様 尾形文子様 沖田正夫様 笠松一久様 久乗 哲様 櫻井幸作様 櫻田憲一様 高崎秀夫様(2本) 手島千恵子様(2本) 中村 良様 根来 滋様 原田孝一朗様 疋田 聡様 森川佳代子様 山田幸子様(2本)

催事案内

遊び、学ぶ、糺の森のつどいあれこれ

“秋”の糺の森コンサート「音の森」

月日：10月11日(土)、11月8日(土) 時間：午後2時~3時(予定) 場所：河合神社(糺の森南側)拜殿

参加：無料(自由) 爽やかな季節と音楽を楽しむ“秋”のコンサート。幅広い内容を企画しています。ご家族やお友達と気軽にお越しください。



糺の森文化講演会<秋講座> いのちのちから、あらたに

月日：11月24日(月・祝) 場所：下鴨神社研修道場 参加：無料

※第34回式年遷宮を祝って記念シンポジウムを開催します。詳細は同封のチラシかホームページをご覧ください。

詳細はホームページをご覧ください

- 糺の森財団 www.tadasunomori.or.jp 下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp

お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010